

図書館 だより

泗水図書館 ☎0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつぶやき
 寝る前の読書が大好きです。
 ただ時折、布団で手を温めない
 とページがめくれません。
 ヤーコン



新着・お薦め図書

泗水図書館

怒鳴り癖
 抗争 巨大銀行が溶融した日
 和僑
 老妻だって介護はつらいよ
 真田幸村と真田丸
 さる年のゆる文字年賀状
 おなやみ相談部
 りんごがひとつ

藤田宜永 著
 江上 剛 著
 榎 周平 著
 沖藤典子 著
 渡邊大門 著
 宇田川一美 著
 みうらかれん 著
 いわむらかずお 著

中央公民館

凄い！ジオラマ
 日本の国宝建築
 きょうの猫村さん
 満映とわたし
 BORUTO NARUTO THE MOVIE
 天と地の方程式2
 スヌーピーをさがせ！

情景師アラキー 著
 志村直愛 監修
 ほしよりこ 著
 岸富美子 著
 岸本齊史 著
 富安陽子 著

七城公民館図書室

チーム 2
 絶対楽しい！親子で行けるおいしい工場見学 キョーハンブックス 出版
 のりもの 2000
 げんこつやまがかったとさ
 間所ひさこ/雨宮尚子 さく・え

堂場瞬一 著
 小賀野実 監修・写真

旭志公民館図書室

校長、お電話です！
 ちょっと具合のわるいと時の子どものごはん
 ママがおばけになっちゃった！
 アーチー・グリーンと魔法図書館の謎 D.D.エヴェレスト

佐川光晴 著
 若江恵利子 指導
 のぶみ 作

こんにちは！生涯学習センター準備室です！

ことし4月、菊池市教育委員会事務局生涯学習課内に「生涯学習センター準備室」を設置しました。メンバーは準備室長と2人の職員、6月から2人の準備室推進員（囑託司書）も加わり、総勢5人体制です。

平成29年のオープンに向けて現在準備を進めています。生涯学習センターは1階が図書館、2階が公民館の複合施設です。「集う・繋げる・続ける～まちづくり交流の場～」として、誰もが行きたくなる・居たくなる施設を目指します。

オープンへ向けて広報やホームページで生涯学習センター情報を掲載していきますので、ご期待ください。



生涯学習センター完成イメージ

耳より情報

☆クリスマスモビールを作ろう☆

とき 12月12日(土) 午後1時30分～3時30分
 ところ 旭志公民館図書室
 対象 小学生以上
 定員 10人程度
 期限 12月10日(木) (要予約)
 申込方法 電話か直接、旭志公民館図書室にお申し込みください。



☆年末年始の休館日・閉室日☆

年末年始のお休みは次のとおりです。
 ▼泗水図書館 12月28日(月)～平成28年1月4日(月)
 ▼中央公民館図書室 12月28日(月)～平成28年1月5日(火)
 ▼七城公民館・旭志公民館図書室 12月29日(火)～平成28年1月3日(日)
 ※休館・閉室時の本の返却は、ブックポストをご利用ください。



万句の里俳句会 10月例会

秋の日を惜しみて急ぐ厨かな 稲田 羚子
 柿落葉風のごとくに掃かれゆく 宮本 敏子
 風下へ音滑らせてゆく落葉 光本とよいち
 限りなき風に波うつ秋桜 小山 照子
 身に入むや今日閉店の友の店 田中 美智

せせらぎ俳句会 10月例会

ひまわりの迷路で子等のかくれんぼ 服部 静子
 古寺解かれ起工の杭に照る秋日 藤本 邦治
 さよならは言ふまじ別れ悲しくて 村山 数恵
 秋薔薇に劣らぬ庭のダリアかな 藤本アツ子
 稔り田に幼子交えお茶タイム 寺本 和子

旭志文芸教室俳句の会10月詠草

虫の音の残る朝刊届きけり 芹川 蓉子
 鳳仙花はじきて小さき薔を捨て 水谷 ミネ
 虫すだく笑みし地蔵の畦に座す 芹川のり子

実り田は案山子一座の晴舞台 中尾ヨシコ

嫁姑 一時休戦させる孫 光堀 善教
 秋の気配 同じ所に彼岸花 上村 ○子
 分らず屋 孫も勘当しとるかな 小川 繁美
 嫁姑 姉妹みたいに見られちゃー 狩野 本六
 本当だろか 叩くと生えてくるかしら 窪田 明徳

肥後狂句水笑会 10月例会

無人駅 見送るものは花ばかり 柏原 乗仏
 夜の長さ 夢は見るとして見てもた 吉岡 三水
 寝過ぎ 子どもらしさが見当たらん 宮上 美由
 おんぼろ家 家見て嫁に行かだつた 中島 五女
 夜の長さ 外を見たつちやまだ暗か 御手洗三代

七城短歌会 10月詠草

ピンク色にちらほらすおうが狂い咲き秋立つ庭を淋しさ誘う 高木 精
 冬野菜の種蒔き終えて水掛くる黒く 池田カツ子
 滲んでゆく程安堵

ささやかな幸福の一つ湯あがりの寝床に仰向き背を伸ばす時 佐々 重弘

秋風が我が家にとどける駆けっこのスタートの響き園児等の叫び 緒方 寛子
 用心し入りたる刈り田の稲株に足捕らわれて躓き転ぶ 緒方 正俊

「里」短歌会 10月詠草

朝靄に浮かぶ集落いにしへの武士たちの低き声 岩本サヨ子
 里山の美人の寝姿鞍岳を絹雲覆ふて 川口 敦子
 今夜来の台風に倒れし庭の木々朝顔ひとつめげず咲きいる 松岡 節子
 九十の叔母は律儀に送り来るお子へと添えてチョコのゼリーを 前原 ゆみ
 ゆるやかな流れに添いて秋の燃ゆ上高地いまファイナールの季 宮本 淑子

高齢者大学文芸部 10月歌会

特攻の息に持たせしとふ誉人形悲涙も杳か平和の揺らぐ 中川 愛子
 夕暮れを水待つ生姜に応ふれば楢円葉並みに晩鐘流る 岩木タエ子
 立ち待ちの月はオレンジ色となり夕闇の中ぼっかりと浮く 岩根 博恵

文芸 きくち

台風に枝葉積もりし庭屋敷更えし黒土に彼岸花咲く 北村 玉恵
 病む夫と終の旅となりし下呂温泉娘と尋ねむ六年経ちて 山田 弘子

菊池短歌会 11月詠草

鈴虫の細き羽音や小夜中の闇夜にしみる子守唄かな 川口 幸臣
 他愛ない夫のジョークに声たてて九十四才の姑が笑へり 安藤 則子
 石露の蜜ひたすらに吸ふ蝶の秋光浴びてなごり惜しむか 岩永 典子
 世の中に衆知の秘密といふものあり植木鉢の下の鍵あり 古賀 勝士
 紅をさし装ひ終ふれば整へり歌会に臨む心積りが 中川 愛子